

5.15 沖縄平和行進に参加して

名古屋支部青年部書記長 羽賀 達也

今回5年ぶりの平和行進参加ということで、前回参加したときの知識と経験を生かして今回が初参加の方のサポートができればいいなと思っていました。そこで先日の代々木公園でのさよなら原発集会で沖縄地方の青年部部長である新里さんより「今年の平和行進の三単産の副団長をお願いできないか」と打診された時にこれを承諾し、副団長として頑張っていこうと思いました。

しかし実際には自分の力不足を痛感する場面の方が多く、全日建連帯さんや全国一般さん、全港湾の中執と各地方の仲間たちに支えられっぱなしの5日間でした。

今回は前年と同じく視察が多かったため、バス移動が多くその都度、点呼をとる役目を仰せつかっていたのですが、各単組の皆さんの迅速な対応で常にスムーズに移動を行うことができました。

視察では沖縄戦で実際に起こったことについて書かれた資料や米軍のカメラによる映像、生き残った民間人の方々の証言の映像などを目の当たりにし、戦争の悲惨さを痛感し、今ある平和を大切にしていかなければならないと決意を新たにしました。

今回行進は13日の1日だけだったのですが、この1日だけでも事前に打ち合わせをしたときに快くレンジャー隊への参加を引き受けてくれた方、宣伝カーでのシュプレヒコールに積極的に参加してくれた方、先頭で横断幕を常に持ち続けてくれた方、少し声をかけるだけですぐに動いてくれた方々に支えられ、無事に約12kmの行進を完歩することができました。そして行進の後に行進の疲れをBBQで労ってくれた沖縄地方の全港湾の方々、改めてありがとうございました。

最後になりますが今回の5.15 沖縄平和行進が誰も怪我をすることもせず、途中で離脱することもなく無事に終わり成功を取めることができたのは各単組、各地方の皆さんがそれぞれしっかりと動いてくれたおかげです。頼りない副団長ではありましたが、皆様に支えられてなんとか私も5日間を無事に終えることができました。本当にありがとうございました。またどこかで出会う時がありましたらよろしく願います。